

執筆紹介 ①所属(専門) ②主要著作・論文 ③生年、最終学歴

③1978年、立命館大学大学院社会学研究科博士課程後期課程修了(社会学博士)

神野 直彦(じんの なおひこ) 編著者、1章

- ①東京大学名誉教授、関西学院大学人間福祉学部客員教授(財政学・地方財政論)
- ②『「分かち合い」の経済学』(岩波書店、2010年)、『財政学』(有斐閣、2002年)、『地域再生の経済学』(中央公論新社、2002年)、『システム改革の政治経済学』(岩波書店、1998年)
- ③1946年、東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

拾井 雅人(ひろい まさと) 6章、7章1・5、8章2・4

- ①近畿医療福祉大学社会福祉学部准教授(福祉計画、地域福祉、障害者雇用)
- ②『A Note on Efficiency Wages and Frank's Attitude Value of Workers with Disabilities』(分担執筆、『経済研究』第56巻第1号、大阪府立大学、2010年)
- ③1960年、大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学

山本 隆(やまもと たかし) 編著者、2章、8章1、9章

- ①関西学院大学人間福祉学部教授(福祉行財政、社会福祉政策、ローカル・ガバナンス)
- ②『ローカル・ガバナンス—福祉政策と協治の戦略』(ミネルヴァ書房、2009年)、『イギリスの福祉行財政—政府間関係の視点』(法律文化社、2003年)、『福祉行財政論—国と地方からみた福祉の制度・政策』(中央法規出版、2002年)
- ③1953年、岡山大学大学院文化科学研究科博士課程修了(学術博士)

八木橋 慶一(やぎはし けいいち) 7章2

- ①近畿医療福祉大学社会福祉学部特任講師(社会福祉政策、政治学)
- ②『よくわかる福祉財政』(共編、ミネルヴァ書房、2010年)、『イギリスにおける地域再生政策の課題と可能性に関する一試論』(『社会政策』第1巻第2号、2009年)
- ③1973年、同志社大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学

山本 恵子(やまもと けいこ) 編著者、4章

- ①帝塚山大学心理学部教授(福祉行財政、高齢者福祉、英国社会福祉政策)
- ②『行財政からみた高齢者福祉』(法律文化社、2002年)、『中央—地方関係からみた地方エリア協約(LAA)の考察—イングランドにおける地域再生の取り組みの新展開』(『日本医療経済学会会報』第26巻第1号、2007年)、『英国における擬似市場の展開と高齢者福祉政策』(『社会福祉学』第48巻第2号、2007年)、『イングランドにおける医療と福祉の財政的連携・統合に関する考察—共同財政とプール予算の比較を通して』(『日本医療経済学会会報』第27巻第2号、2008年)
- ③1958年、立命館大学大学院社会学研究科博士課程修了(社会学博士)

村上 真(むらかみ まこと) 3章

- ①奈良県立医科大学非常勤講師(行政学)
- ②『貧困問題と市民参加：CLEAR フレームワークの視点』(『賃金と社会保障』第1522号、2010年)、『ボランティア部門と社会福祉』(ノーマン・ジョンソン『グローバルゼーションと福祉国家の変容』青木郁夫・山本隆監訳、法律文化社、2002年)
- ③1970年、同志社大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学

岩満 賢次(いわみつ けんじ) 5章、7章3・4、8章3

- ①聖カタリナ大学人間健康福祉学部講師(地域福祉、福祉行財政計画論)
- ②『よくわかる福祉財政』(共編、ミネルヴァ書房、2010年)、『イギリスの地域再生と自治体財政統合：Local Area Agreementによる地方自治体財政への影響』(山本隆・難波利光・森裕亮編『ローカルガバナンスと現代行財政』ミネルヴァ書房、2008年)、『地域福祉計画へのローカルガバナンス導入の有用性に関する研究』(『日本ボランティア学学会誌』2004・2005年度合併号、2006年)